



2018年度

農学部・短期留学

国際農業文化理解（ミシガン州立大学）

実施要項



明治大学 教務事務部 農学部事務室

所在地：〒214-8571

神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

電話：044-934-7570

ファックス：044-934-7902

ホームページ：<http://www.meiji.ac.jp/agri/>

※本要項は農学部HP内からもダウンロードできます。
<http://www.meiji.ac.jp/agri/international/index.html>

国際農業文化理解（ミシガン州立大学）

はじめに ～本科目の実施目的について～

学生時代における海外での体験は、在学中の学業面だけではなく、社会に出てからも大いに役立ち意味のあるものです。農学部では、農学をベースとした世界に通用する見識を持った国際的な人材の育成を目指し、短期滞在型プログラムへの参加を推奨しています。

ミシガン州立大学（MSU）は、イーストラッシングにある自然豊かな大学で、アメリカ合衆国ミシガン州の州都であるランシングの東に隣接しています。1855年に創設された米国で最初の農学大学であり、全米で10位以内にランクされる広大なキャンパスを有しています。現在では18カレッジと多種多様な107学科から構成され、教育・研究分野においてトップレベルの総合研究州立大学です。

この国際農業文化理解（ミシガン州立大学）に参加することで、英語能力の強化のみならず、日本とは異なる風土・文化・歴史・言語・ライフスタイルなどを実感することができます。また、大学農場やMSUの研究室の見学などを通して、農学部ならではの語学学習や体験、交流ができます。

短期間ではありますが、五感すべてで異文化を感じることでできる密度の濃い科目です。皆さんが世界に目を向けることで、逆に日本を外から見られるようになるきっかけとなり、また国際的な視点から農業についての知識や見聞を得られるまたとないチャンスです。是非積極的に応募してください。

（参考）ミシガン州立大学HP：<https://msu.edu/>

1. 科目について

- （1）国際農業文化理解（ミシガン州立大学）は農学部主催の実習科目のため、履修登録が必要になります。なお実習科目であるため、履修制限単位には含まれません。当該科目の修了により、フィールドサイエンス科目群もしくは農場関係科目群の科目として秋学期に1単位が付与されます。
- （2）不明点がある場合は、必ず事前に農学部事務室まで問い合わせてください。

2. 日程・スケジュール

2018年8月25日（土）～9月10日（月）の17日間（15泊17日）

※スケジュール案についてはP. 6（資料1）を参照して下さい。

※スケジュールについては、現時点での予定であり、派遣受入先との調整や現地の状況等により、プログラム内容や日程が変更になる可能性があります。

※宿泊はホテルを予定しており、男女別となります。またホテル内での飲酒（米国内では21才以下の飲酒が禁止されています）・喫煙が禁止となっていますので、現地の法令を順守するようにして下さい。

※夜間は安全管理・危機管理の都合上、各自で責任と自覚を持って行動し、所定の門限までにホテルに戻るようにして下さい。また、行動する際は単独行動を慎み、必ず複数で行動するようにして下さい。

3. 募集人数

8名の募集を予定しています。（学部生のみ）

※農学部 専任教員が1名引率予定。

4. 参加費用

プログラム参加費は15泊17日で40～45万円程度を予定しています。

(補助金が給付される場合があります)

- ・上記予定金額は為替レートや燃油サーチャージ、航空券の発券時期、空港使用税の変更等により変動する可能性があります。
- ・参加費は語学授業費、宿泊費、航空運賃(諸税含む)、海外旅行保険、現地交通費(バス)、食費(研修内で提供するもののみ)、当該科目の運営に関わる雑費等の合計です。
- ・参加費にはその他の個人的経費(ESTA登録料、研修内で提供する食事以外の食費、観光費用、自由行動に係る交通費、土産等)を含みません。それらについては別途、自己負担となります。
- ・最終的な支払金額や支払期限、支払方法等については決定次第、お知らせいたします。
- ・大学の指定する保険会社の海外旅行保険に全員加入していただきます。(海外旅行保険の費用は参加費に含まれます)それとは別に加入したい場合は各自で手続きをしてください。
- ・研修の旅行手配等の一部を旅行業者に委託する場合があります。また、委託に際して必要な個人情報をご提供することがありますので、予めご了承ください。
- ・事前研修への参加姿勢や出席状況等によっては、科目の履修・参加の辞退をしていただく場合もあります。また、その際に発生するキャンセル料については、参加者本人が負担することとし、参加者確定後で履修登録が済んでいる場合、履修取消はせず、不合格の成績評価となります。
- ・現地の安全上の状況や不測の事態によりプログラムの実施が不可能と判断された場合、履修登録は取消となります。中止に伴いキャンセル料が発生する場合は参加者本人が負担することとします。

5. 応募条件

以下の(1)～(6)の条件を全て満たす者

- (1)農学部2～4年生
- (2)過去1年以内にTOEICまたはTOEFLを受験(または今後受験予定)しており、そのスコアを応募期間までに提出可能な者。(受験予定者は受験に関する証明書を提出し、スコアが届き次第農学部事務室に提出すること)
また、参加後1年以内(1年以内に卒業する者は卒業時まで)にTOEICまたはTOEFLのスコアを農学部事務室に提出すること。
英語力について
本科目は訪問先での授業や施設概要説明、現地大学生・教職員とのコミュニケーションなどは原則として全て英語で行います。参加決定後は各自で勉強し、語学力の向上に努めてください。
- (3)学習意欲及び目的意識をしっかりとって参加し、現地の大学生や教職員等とも積極的にコミュニケーションをとる者。
- (4)科目の履修・参加にあたり健康状態に支障がない者。
(持病がある場合はかかりつけ医師等の了承を得ていること)
- (5)誓約書を熟読し、別途誓約書に記載されている事項に同意し、保証人の同意を得た者。
- (6)選考によって参加者を決定するため、参加者決定後の辞退は原則としてできない旨理解し、応募する者。(辞退する場合はキャンセル料が発生することもありますので、十分注意の上応募すること)
※2011年3月1日以降にイラン、イラク、スーダンまたはシリアに渡航または滞在したことがある者は、ESTA取得に影響があるため事前に農学部事務室へ相談すること。

6. 年間スケジュール

日程	スケジュール	備考
4月13日(金) 昼休み (12:40~13:20)	農学部留学 ガイダンス	当該科目の詳細を農学部留学ガイダンスの中で説明します。 ※応募するにあたり、ガイダンスの参加は必須です。 必ず参加してください。
4月16日(月) ~4月27日(金)	応募期間	提出書類一式をまとめて農学部事務室まで提出してください。
5月12日(土)	書類選考または 面接審査	応募人数が募集人数を超えた場合には、書類選考または面接審査にて参加者を決定します。詳細は応募者に直接に連絡します。
5月15日(火)	参加者発表	農学部掲示板にて参加者を発表します。
未定	事前説明会	参加者には追って日程をお知らせします。 ※初回の説明会にて、履修登録(マークシート)を行います
8月25日(土)~ 9月10日(月)	実習期間	P. 6資料1参照
10月中旬	修了証授与式	参加者には追って日程をお知らせします。

7. 提出書類

応募期間内に以下書類一式をまとめて農学部事務室まで提出してください。

- (1) 国際農業文化理解 志願書
- (2) 国際農業文化理解 参加誓約書
- (3) 成績通知表(各自 Oh-o!meiji システムより出力して下さい。証明書自動発行機で取得する成績証明書は不可。)
- (4) TOEIC または TOEFL のスコアシートのコピー(過去1年以内に受験したものに限り)
または受験票

※(1)(2)の書類は以下農学部HP内(国際交流をクリック)よりダウンロードしてください。
<http://www.meiji.ac.jp/agri/international/index.html>

※(1)~(3)の書類はすべてA4サイズ・片面印刷で揃えてください。なお、表紙およびホチキス留めは不要です。

※応募書類に不備があった場合、参加不可となる可能性があります。提出前に応募者の責任においてよく確認してください。

8. 学内選考

応募人数が募集人数を超えた場合には、書類選考または面接審査にて、合否を決定します。

なお書類選考の際は、提出された書類を審査した上で、順位付けは原則としてGPAで行い、それが同率の場合は卒業要件単位数が多い者を優先します。

これらを踏まえ、農学部国際交流委員会及び農学部教授会で合否を決定します。

また、定員を満たしていない場合にも、人物・成績等総合的に判断し、不合格とする場合があります。

9. 事前説明会

本科目が実施される前には、事前説明会を開催します。

10. 授業概要

- ・英語農学講座
 - ・プレゼンテーション発表
 - ・アメリカの文化・農業などに関する初級講座
 - ・学内/学外施設の見学(例:Kellogg Biological Station, MSU Natural History Museum, Spartan Stadium)
 - ・ホームステイ体験
 - ・その他, 現地学生との交流会等のレクリエーション
- ※詳細についてはガイダンス時に説明します

11. 関連科目【参考】

以下の科目は本科目とも関係する内容のため, 履修することは本科目の理解に効果的です。(参加にあたっての必須科目ではありません) 応募を検討している者は, 各自の履修スケジュールや各学科の必修科目, 必要単位, 進級・卒業要件等を総合的に勘案し, それらに支障がない場合は履修を推奨します。その上で履修を行う者は, 各自で履修方法や科目の詳細, 履修期間などをシラバスや時間割, 便覧, 各種資料等を確認し, 所定の手続きを行って下さい。

農学部科目

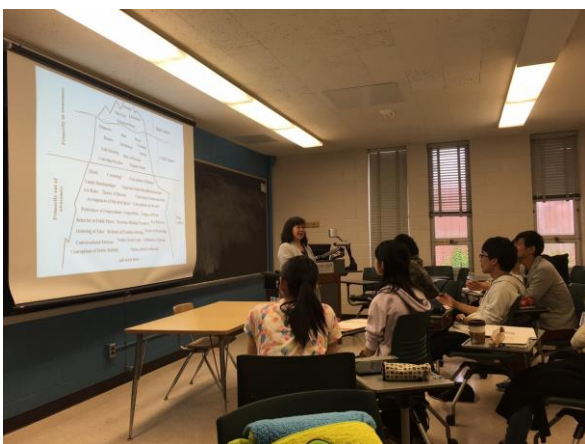
- ・英語農学入門<2017年度以降入学者> (食料環境政策学科, 生田キャンパス)
- ・英語農学I (各学科開講, 生田キャンパス)

資料1 2018年度スケジュール予定

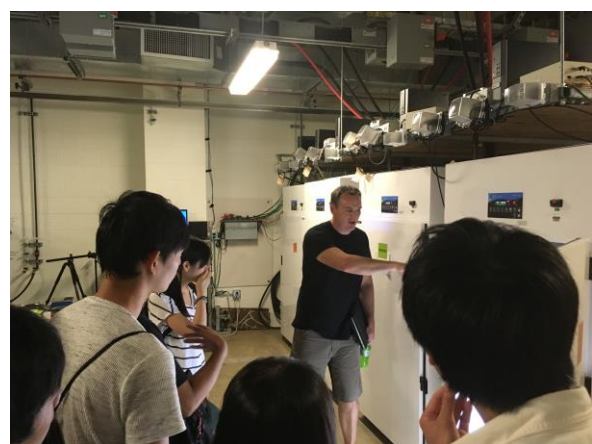
日付	スケジュール	宿泊
8/25 (土) (1日目)	成田国際空港 集合	ホテル
	成田国際空港 出発(便)	
	デトロイト・メトロポリタン・ウェイン・カウンティ空港(DTW) またはランシング首都圏国際空港(LAN) 到着	
	ホテルに到着	
	夕食	
8/26 (日) (2日目)	昼食	
	受け入れとプログラム概要の説明	
	キャンパスツアー	
	夕食(夕食後, 自由時間)	
8/27 (月) (3日目)	英語農学講座①(場所未定)	
	昼食	
	アメリカの歴史と文化についての初級講座	
	夕食	
	夕食後(地元球団の試合観戦など)	
8/28 (火) (4日目)	英語農学講座②(場所未定)	
	昼食	
	アメリカの家族についての初級講座(場所未定)	
	学内スポーツ施設の視察	
	夕食(夕食後, 自由時間)	
8/29 (水) (5日目)	英語農学講座③(場所未定)	
	昼食	
	Kellogg Biological Station 視察・研修	
	夕食(夕食後, 自由時間)	
8/30 (木) (6日目)	英語農学講座④(場所未定)	
	昼食	
	農業天然資源カレッジ執行部との面会(場所未定)	
	MSU Broad Art Museum, MSU Natural History Museum 視察・研修	
	夕食(夕食後, 自由時間)	
8/31 (金) (7日目)	英語農学講座⑤(場所未定)	
	昼食	
	MSU Horse Farm 視察・研修	
	地元の民間農場 視察・研修	
	夕食(夕食後, 自由時間)	
9/1 (土) (8日目)	テールゲートパーティ(昼食), 大学間交流(大学チームのフットボール観戦など), 夕食, 自由時間	
9/2 (日) (9日目)	地元の市場(East Lansing Farmers Market) 視察・研修	
	デトロイトに移動	
	デトロイト周辺施設等視察(昼食, GM Headquarters, デトロイト川散策, Henry Ford Museum)	

	夕食（夕食後、自由時間）	
9/3（月） （10日目）	ホームステイ（終日）	ホームステイ
9/4（火） （11日目）	英語農学講座⑥（場所未定）	ホテル
	昼食	
	州議事堂 視察・研修	
	State of Michigan History Museum 視察・研修	
	夕食（夕食後、自由時間）	
9/5（水） （12日目）	英語農学講座⑦（場所未定）	
	昼食	
	MSU 研究室視察・各教員の研究内容説明・ディスカッション	
	夕食（夕食後、自由時間）	
9/6（木） （13日目）	英語農学講座⑧（場所未定）	
	昼食	
	Dewitt High school 訪問・現地学生との交流	
	夕食（夕食後、自由時間）	
9/7（金） （14日目）	Gerald Ford Presidential Museum 視察（昼食）	
	ミシガン湖の自然についての学習・視察（夕食）	
9/8（土） （15日目）	自由行動	
	送別会	
9/9（日） （16日目）	ホテルチェックアウト、空港へ	
	DTW 出発（便）	機内泊
9/10（月） （17日目）	成田国際空港 着	
	成田国際空港にて解散	

※諸事情により、スケジュールは変更される場合があります。



現地での英語学習風景



Dr. Day による研究室・施設案内